

鳴海ヶ丘新聞

第1号

2013年 7月17日



文化芸術トビックス
日本の文化に
ふれよう！

6月29日、栄光まつりが開催されました。今回の栄光まつりは、レッツ・カルチャ〜！。日本の文化を中心に親子であそびの体験ができるさまざまなイベントを用意しました。

昔のあそびのコーナーでは、竹トンボやこまなど、お父様お母様も小さきころを思い出して童心にかえって遊べるあそびのイベントを企画しました。制作した竹トンボやこまで家族で遊んでいる楽しそうな姿が見られました。



スペシャルステージとして行われたミュージック空手のステージは迫力満点！



他にもお抹茶、親子ヨガの体験、食育クラブによる水菓子作り体験などいろいろな文化の体験コーナーがありました。

みんなでレッツ・カルチャ〜！！



日本の伝統的な空手の型と音楽を融合した演奏は素晴らしく、見ている方々も釘づけでした。



毎年恒例の若草会によるイベントは今回も大盛況！最後は、はぴはぴ音頭をみんなで踊り、お楽しみ抽選会で締めくくられました。親子でいろいろなあそび体験を満喫できましたか？思い出にのこる一日となりましたね。

NARUMI ネイチャーウォッチング



園のシンボルツリー「えのき」
(開園記念樹) 54歳

正門をくぐり坂道をのぼると、1番最初に大きな木が目に入ります。そう、鳴海ヶ丘幼稚園のシンボルツリー「えのき」です。

えのきは、ニレ科エノキ属の落葉高木です。春に芽吹き、夏に青々と葉が茂り、秋になると葉が色づき冬には葉が全部落ちます。エノキの姿をとおして、1年の季節を感じることができます。

子どもたちは、この木の下でおしゃべりしたり、木の実をとって描いたりして、いつもえのきとかかわって生活しています。

ところで、エノキは日本の国蝶オムラサキの幼虫の食樹としても知られています。他にも多くの昆虫が好む食樹だそうです。どんな昆虫がいるか探してみるのもいいですね。

赤三組 座禅
足を組んで背筋を伸ばし、目線は前のお友だちの背中の方を見ます。ゆっくり息をすって、はいてを繰り返します。心はからっぽにして何も考えず、はいけません。先生に座禅の組み方を教えてもらい、みんなでやってみました。最初は少し難しく、もももぞする子もいました。が、ゆつたりと心地よい音楽の中、みんなの心もだんだん落ち着き、静かな時間が流れました。



青三組 書道
先生が大きな「青」の文字のまわりを、一人一人、筆で名前を書きました。中には漢字で名前を書いた子もいました。また、先生がモップで手作りした大きな筆で大きな紙に字を書いてくれました。とっても大きな筆にみんなびっくり！書いた字も大きくなって迫力がありました。



「さくらさくら」に目を輝かせて耳をかたむけていました。実際に、みんなも音楽器に興味のしん子でした。



マイカルチャー

今年から本格的に文化・芸術体験プログラムが始まりました。一学期はアフリカの民族楽器「ジャンベ」、「ミュージック空手」を一流の先生と体験しました。音やリズム、型など、感性豊かな幼児期に文化芸術体験することは、将来、品格ある日本人、国際人をつくる礎となります。

園長 岡田勝彦
「とは何でしょう。極言すれば生活スタイルです。スタイルは、家庭環境によって染み込んでいきます。私は、幼児期に箸の上げ下ろしを厳しくしつけられました。ゴミの分別をうるさく言われました。水や電気の節電もきびしく育てられました。一方で、様々な音楽が流れる環境にあり、芸術の数々を見聞きし、楽器も習いました。「環境教育」として「文化芸術」への取り組みは、私のカルチャーから生まれたものです。お子様がどんな大人に育ってほしいですか？各家庭のカルチャーと幼稚園での文化芸術体験が相まって、品格ある人となることを願っています。